

平成29年 3月 6日～ 8日

鳥羽市議会会議

一般質問通告者一覧表

発言通告者	議席番号	1 1 番	氏 名	橋本 真一郎
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 大規模災害時における受援計画（対策）について</p> <p>次の点についてきく。</p> <p>①受援（援助を受ける）の考えについて。 ・受援計画の進捗状況と現状は。</p> <p>②応援要請を行う関係機関先について。</p> <p>③応援要請の判断基準について。</p> <p>④応援要請時の連絡体制や情報連絡体制について。</p> <p>⑤受援が必要な担当課について。 ・担当課別に受援業務の想定内容は。 ・担当課との調整等取り組み状況は。</p> <p>⑥相互応援協定締結市の受け入れ体制について。</p> <p>&lt;市長及び担当課長&gt;</p>			

発言通告者	議席番号	7 番	氏 名	戸 上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 子ども医療費の窓口での無料化推進について</p> <p>子ども医療費の窓口での無料化は市民の願いになっている。母子寡婦福祉会は第一の要望として長年求め続けてきた。近年、県内各市でも実施の機運が高まっている。子育て支援策を充実強化してきた本市としても実施に踏み切るときではないか。そこで以下の諸点について問う。</p> <p>①全国と県内各自治体での実施に向けた状況をどう把握しているか。</p> <p>②本市の方向性に前向きな検討はなされたか。</p> <p>&lt;市長及び関係課長&gt;</p>			

発言通告者	議席番号	7 番	氏 名	戸 上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 就学援助金の新入学準備費用の前渡し実施について</p> <p>子どもの貧困は本市においてもなお深刻な状況を脱していない。カバーする就学援助のうち、新入学準備費用は6月以降の支給になっている。各地では前倒し支給が始まっている。そこで以下の諸点について問う。</p> <p>①就学援助の実態はどうなっているか。  ②新入学準備費用前倒し支給に対する市の検討はどうか。  ③新入学準備費用について、国の補助単価の改定はどうなったか。</p> <p>&lt;市長、教育長及び関係課長&gt;</p>			

発言通告者	議席番号	7 番	氏 名	戸 上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ (仮称)「海女さん条例」の制定の進展状況について</p> <p>平成28年12月の一般質問で条例制定を提案した。その後の進展状況について以下の諸点について問う。</p> <p>①国の文化審議会による重要無形民俗文化財指定答申はどのような内容か。</p> <p>②追い風にして(仮称)「海女さん条例」制定に拍車をかける時だが、見通しはどうか。</p> <p>&lt;市長及び関係課長&gt;</p>			

発言通告者	議席番号	7 番	氏 名	戸 上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 市長の3期12年の足跡について</p> <p>木田市長は今季限りでの勇退を表明された。3期12年の足跡に対する市民的評価は高い。財政と福祉に絞って運営の基本点をきく。</p> <p>①市財政再建はどう進んだか。 ②市民の暮らしと家計応援はどうであったか。</p> <p>&lt;市長及び関係課長&gt;</p>			

発言通告者	議席番号	5 番	氏 名	井 村 行 夫
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 今後の離島振興策について</p> <p>平成29年1月17日に国土交通省国土政策局離島振興課課長による「今後の離島振興について」講演会があり、その資料の中に全国の少子高齢化率が最も進んでいるのは離島とされている。</p> <p>平成25年度から施行された改正離島振興法を踏まえた当市の有人離島における現状と問題点、主な対策についてきく。</p> <p>①各離島の人口推移と人口ビジョンの予測。</p> <p>②離島の問題点と打開策について。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の特産物を活かした産業の活性化と移住定住促進について。 （戦略商品の開発、移住定住応援事業と受け入れ体制）</li> <li>・ 交流活性化事業について。 （島の特徴を活かした文化的交流の拡大及び学校間の交流）</li> <li>・ 安心安全向上事業について。 （災害時の孤立対策と高齢者福祉、緊急医療体制）</li> </ul> <p>③離島架橋の今後について。</p> <p>&lt;市長及び担当課長&gt;</p>			